

平成28年度事業報告書

生活介護事業所 ゆら ～愉笑～

1、基本方針

重度の障害があっても地域の中で普通に暮らせることのできる街づくりを目指し、様々な社会資源を活用しつつ、重度の障害児者が求めるサービスを提供するとともに、より困難な状況にある方々の福祉に一躍を担うべく主体的に取り組むことを基本理念とする。

サービスを実施提供するうえにおいて、障害児者の多様なニーズに対して柔軟かつ丁寧に応えることを基本姿勢とし、事業及びサービスの提供において困難な場合においても諦めることなく、粘り強くその事業及びサービスの実施を試み、最大限の努力を行うことを本会の基本方針とする。

私たちの姿勢について

私たちは、「障害」ということばを生きていく上での困難さと捉え、その困難な状況下で精一杯生きる対象者の有する権利と人格に対して、最大の敬意をはらうとともに、私達が行う支援が効果を上げるべく、自己研鑽を行い、私達の職務が対象者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意をもって果たしていくことが、私達の事業に対する姿勢であることを確認する。

また、私達が行う支援は利用者が主体となるものであり、私たち支援者の都合に基づくものではない。これを私たちの取組みに対する姿勢であることを確認する。

2、取り組みの視点

①利用者主体

- ・日常の一つ一つの意志確認を丁寧に行う。
- ・伝える工夫、受けとる感受性。その方が、今、どう感じているのか自分も感じながらコミュニケーションをとる。
- ・利用者がやりがいを感じることを、意欲的になれることを一緒に見つけていく。
- ・その方の動きを待つ。(心の動きも含めて) ※「構え」

②コンディションを整える (PT、OT、Ns、Dr等の連携含む)

- ・生活リズムを整える。
- ・体調の変化を感じとる。
- ・PT、OTの助言のもと、筋緊張を緩めたり姿勢管理等を行い、活動しやすいコンディションを整える。

③デイ アクティビティの充実

- ・仕事の確立。その方らしく向き合える仕事の設定を考える。
- ・趣味、レクリエーション等の充実をはかる。

職員に求める姿勢

- ①利用者は一人の市民である事を忘れず、相応しいサービスを提供する。
 - ・年齢に相応しい言葉遣い、接遇を徹底する。
 - ・謙虚な気持ちを忘れない。「こちらが間違っているかもしれない」という気持ちを持つこと。また、間違ったことに気づいた時は、誠実に謝罪する。
- ②サービスの質の向上を目指す。まず、個々に向上心を持ち自分を磨くこと。その上で、チームとして協力し、目標を達成する。
- ③この仕事の楽しさは、ひたむきに利用者と接していく中からうまれる。誠実に、利用者の心の動きを感じ取りながら丁寧に接していく。
- ④協力者（地域の方、ボランティア等）との連携を深め、利用者が「人とのつながりや心地よさ」を感じられるような取り組みを展開する。
- ⑤自分の意見や態度に責任を持つ。 ※マイナスな意見だけでなく、どうしたら少しでもプラスになるかを考えていく。
- ⑥主観だけに頼ることなく、冷静に客観的にみることを忘れない。

3、取り組み内容

28年度、登録者数は月1回の余暇支援活動の参加者10名との契約を含むと、43名となりました。1日の利用者数は、22～23名です。（土曜日は、約12名）

今年度は、地域の方や多くの方との交流や、利用者にとっての仕事の場として、喫茶を始めました。また、楽しみとしては、ナイトレクとして、天王寺のレストランで夜景をみながらの食事会をしました。

日々、利用者との関係作りを軸としながら、楽しく活動できるよう意識して取り組みました。また、グループは3つに分けて活動しました。

（いきいきグループ）

言葉だけに頼らず、絵カードや映像等の工夫をする中でコミュニケーションを深めていくグループです。その中で、役割としての活動（調査活動、取材活動等）や楽しい活動（外出、プール、ビデオ鑑賞等）を幅広く行いました。また、五感を刺激するような取り組み（スヌーズレン、ハプティック等の要素を取り入れ）を行いました。特に、印刷事業として、利用者と職員で協力してデザインし、試行的にカレンダーやポストカードを製作する事ができました。また、健康への配慮は常に行い、PTやOT、NSとも連携して安全なマッサージや体操を行いました。

（わーくグループ）

文字盤等、工夫しながら、どんどん言葉によるコミュニケーションをすすめ、利用者が自分の想いを伝えられるように、活発にミーティングや個別のコミュニケーションの時間を設定し、進めました。その中で、役割としての活動（縫製、商品管理等）や楽しい活動（外出、プール、ビデオ鑑賞等）を幅広く行っています。利用者の主体的な意見を取り入れながら活動を行いま

した。特に、商品管理と縫製（雑巾）、喫茶の店番に力を入れました。

また、健康への配慮は常に行い、PTやOT、NSとも連携して安全なマッサージや体操を行っています。

（きらっとグループ）

午前中は、運動を通してストレスを発散し、午後から役割としての活動（キャンドル製作等）や楽しい活動（外出、プール、ビデオ鑑賞等）を幅広く行いました。体を動かす事を多く取り入れ、情緒の安定にもつなげています。特に、キャンドル製作に力をいれ、モザイクキャンドルとアロマキャンドルの完成度を高めました。

また、健康への配慮は常に行い、PTやOT、NSとも連携して安全なマッサージや体操を行っています。

① 作 業(役割)

利用者1人1人が担いやすく、楽しみながら行える作業（役割）を設定します。従来の下請け作業のような「細かい」「スピードを要する」作業は行っていません。また、作業の際は、職員や利用者同士のコミュニケーションを大切にしながら行いました。どの作業も達成感を味わって頂けるように、場面ごとに盛り上げていく事、製品は個別に管理し仕上がりをきちんと皆で丁寧に確認するようにしました。

・店舗

ゆら敷地内で、雑貨や調味料の店と、喫茶を展開しています。商品整理や管理、接客等の役割を行っています。

・取材

街中に出かけていき、デジカメできれいな風景等を撮影し、それをストックしていき、最終的には「ポストカード」等に活用します。

・キャンドル

廃ろうそくを使い、オリジナルのキャンドルを製品化し、販売しています。今年度は、ラッピングなどの工程も一緒に行い、意欲につながりました。

・ワッフル作り

おいしいワッフルを作るために、試作、試食を繰り返し、楽しみながら販売できる製品作りを行いました。

・買い物

施設に必要なもの等を購入しました。

・ガーデニング

施設の玄関先を飾り、水やり等を行いました。

・施設内新聞

不定期ですが、家族を対象とした新聞の作成を行いました。文字を打ち込む事が好きな方もあり、とても意欲的に行えました。

・縫製

雑巾等の製作を行いました。

- ・館内の美化、整理

館内の美化、整理ができていないか定期的にチェックし、改善します。

- ・印刷事業

まだ、試作段階ですが、利用者が自由に描いたデザインをパソコンで編集し、カレンダーやポストカードを製作しています。

②楽しみ（趣味）

それぞれの方が好きな活動を、時には個別に、時には好きな方で集まって行いました。その際、職員や利用者同士のコミュニケーションを大切にしながら行いました。その方が今、どのように感じられているのかを受け止めながら行いました。

- ・絵画、書道

水彩画や、新年には書初めを行いました。

- ・工作

クリスマスのリース作りや、部屋の飾り等を行いました。

- ・調理

とても意欲的に参加される姿がみられました。

- ・映像

ビデオプロジェクターでの迫力ある映像を提供し、体感も図りつつ、楽しみました。

- ・散策

天気のよい日や暖かい日に、体感やリフレッシュもかねて、無理なく取り組みゆったりとした時間をすごしました。万代池公園等。

- ・カラオケ

カラオケの機械を使い、得意なうたを唄って楽しみました。

- ・ゲーム、レク

卓上ゲーム(将棋やオセロ等)やテレビゲーム（ボウリング等）、レクリエーション（借り物競争、音楽等）等、室内でのレクリエーションを行いました。

- ・プール

参加確認を行い、長居スポーツセンターでのプールに参加しました。

運動、機能維持のニーズの高い方は、回数を増やしました。

- ・土曜日のプログラム

平日とは違う雰囲気や、作業は行わず、上記のような楽しみ事を行いました。

また、月に1度、余暇支援として、ボランティアの協力を得て、ミュージカル、音楽コンサート、手品、フラメンコの鑑賞や、料理教室を実施しました。

③行事

- ・外出

事故なく安全に行う事、体力的な事への配慮に重点を置きながら、外出を選択制にて行いました。ナイトレク、USJ、エキスポシティ、堺ハーベストの丘、いよやかの里バーベキュー等。

- ・誕生日のお祝い

大人としてのお祝いを意識して行いました。誕生日当日、紹介とお祝いの言葉をかけ、プレゼントとして手作りの写真立てを贈りました。

- ・花見会

小グループで公園の桜を満喫しました。

- ・クリスマス会

クリスマス関連の映像を観たり、唄ったりして楽しみました。部屋の装飾を行い、雰囲気を味わいました。

④ その他の活動

- ・ハプティック

ハプティックの研修を受け、実施しました。

- ・足湯

冬は手足の冷たい方も多く、足湯等を行いました。

- ・運動、体操

PT指導のもと、歩行や体操を行いました。

4、施設運営管理

① 利用者数

・生活介護 定員 20 名 利用者 43 名

② 職員数

施設長 1 名、支援員（常勤・非常勤） 12 名、調理員 3 名、
看護師 2 名、理学療法士 1 名、送迎運転手 2 名

5、健康衛生管理

利用者の障害・健康の状態を的確に把握し、看護師と連携し疾病の予防、健康の増進に努めます。

健康・衛生計画表

	内 容	実施予定	備 考
健康診断	血液検査 尿検査 内診 レントゲン	年 1 回	西中病院
P T	姿勢管理等	月 1 回 第 4 土曜日	理学療法士
健康チェック	血圧測定 検 温	毎 日	看護師

6. 会議等について

ゆらにおいては、定例会議・全体ミーティングを開催し、円滑な活動の遂行を計ります。

会議の詳細については下記の通りとします。

■定例会議

- ・月2回（金曜日）

〈内容〉

- ①現状の取り組みの課題等。
- ②各行事の内容検討等
- ③ケース会議

■ミーティング

- ・毎日

- ①毎日の連絡事項
- ② ひやりはっとの報告、確認

7、防災

防災訓練を毎月実施しました。

〈防災訓練〉

- | | |
|-----|---------------------------|
| 4月 | 消防点検 |
| 6月 | 避難、誘導訓練(消防サポートセンター職員立ち会い) |
| 7月 | 消防機器確認 |
| 8月 | 避難、誘導訓練 |
| 9月 | 連絡体制確認 |
| 10月 | 地震に備えての環境整備 |
| 11月 | 地震に備えての環境整備 |
| 12月 | 備品について |
| 1月 | 通報訓練、消火器操作説明 |
| 2月 | 地震に備えての話し合い |
| 3月 | 連絡体制確認 |

8、研修

〈内部研修〉

- | | |
|-----------|----|
| ・護身術 | 江崎 |
| ・実践発表会 発表 | 扇野 |

〈外部研修〉

- | | |
|-------------|--------------------------|
| ・泉州、堺ミーティング | 赤松、扇野、長谷川、槇原、黒光、米田、江崎、石川 |
| ・ハプティック | 江崎、石川 |

- ・ 指定事業者集団指導 赤松
- ・ 重度訪問介護従業者養成研修 石川、泉、末原、真田
- ・ 社会福祉法人制度改革説明会 赤松
- ・ わい×2 実践発表会 江崎
- ・ 全国障害者生活支援研究セミナー 赤松、榎原
- ・ 人材確保勉強会 赤松
- ・ 28年度法人施設指導監査説明会 赤松
- ・ 医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム 赤松、扇野、長谷川、榎原、黒光、米田、江崎
- ・ ショートステイ連絡協議会 赤松、榎原

9、その他

①支援学校高等部・施設実習受け入れ

平野支援学校、東住吉支援学校

②ひやりハット報告書の作成

日常の中で気付くひやりハットについて、報告、記録し事故防止に努めました。

③事故報告書の作成

事故が発生した際には、正確に検証・記録し、事故の再発防止を図りました。

大きな事故はありませんでした。

④苦情報告書の作成

苦情については、取り組み改善のための声として真摯に受け止め、

その上で、職員に周知し改善しました。

⑤感染防止

手洗い、うがいの励行を基本とし、感染防止に努めました。インフルエンザに対しては、職員に予防接種を受けることを勧め、経費は施設で負担しました。また、1人でもインフルエンザに罹患した場合、職員が媒介しないように、一定期間は出勤時に検温を行い、必要な方は日中にも再検し、病院受診を促しました。集団で罹患することはありませんでした。

⑥地域とのつながり

帝塚山マルシェという催しに参加しました。